

沿 革

昭和24年 5月	国立学校設置法による横浜国立大学の設置により、附属図書館が設置された。
昭和24年10月	学芸学部分館、経済学部分館及び工学部分館が設置された。
昭和43年 1月	夜間開館を開始した。
昭和47年 4月	横浜国立大学附属図書館運営委員会を設置した。
昭和49年 6月	中央図書館が常盤台地区に竣工(RC4F 3,957m ²)した。
昭和51年 4月	事務組織が統合され、事務部課制が実施された。
昭和51年10月	「館報」を創刊した。
昭和54年 2月	工学分室が常盤台地区に竣工(1,930m ²)した。 電算機(ACOS 200)を導入した。
昭和56年 4月	附属図書館規程を一部改正し、従来の中央図書館及び各分室を、中央図書館(教育科学・人文科学研究フロアを含む)、社会科学系研究図書館及び理工学系研究図書館に改めた。
昭和60年 7月	中央図書館2号館増築工事(3,492m ²)が竣工した。
昭和62年 3月	学術情報センターに接続した。
昭和63年 2月	一般市民利用への対応要項を策定した。
平成 5年 9月	蔵書冊数が100万冊を突破した。
平成 5年10月	中央図書館の土曜日開館を開始した。
平成 6年 7月	インターネット及び電話回線によるOPACサービスを開始した。
平成 8年 7月	ホームページの試験運用を開始した。
平成 9年10月	理工学系研究図書館の土曜日開館を開始した。
平成10年 1月	「横浜国立大学附属図書館沿革誌」を刊行した。
平成10年 4月	総合情報処理センターの協力(パソコン27台移設)によりマルチメディアパソコンコーナーを開設した。
平成11年 4月	中央図書館、理工学系研究図書館の平日夜間開館を1時間延長した。 Web対応CD-ROMサーバーシステム及び画像データベースサーバを導入した。
平成12年 3月	「附属図書館のトータルデザインに関する調査研究プロジェクト」(平成11年度実施)の報告書を学長に提出した。
平成12年 4月	コンソーシアムによる電子ジャーナルサービスを開始した。
平成12年 5月	学内LAN利用のオンライン文献複写申込み(ネットオーダー)を開始した。
平成12年10月	情報リテラシー教育の一環として図書館主催による総合領域「知の回廊」(平成12年度後期)を実施した。
平成12年11月	「横浜国立大学中央図書館施設基本計画」を策定した。
平成13年 6月	中央図書館の新営・改修工事に着工した。
平成13年11月	「横浜国立大学附属図書館における情報リテラシー教育のあり方《グランドデザイン》」を策定した。
平成14年11月	中央図書館の新営・改修工事が竣工(12,231m ²)した。

組 織

